



### 語る会を5カ所で開催

能登町の未来を語る会（以下「語る会」）は、わたしたち行政が、直接住民のみなさんに政策や町の状況を説明し、みなさんの意見を伺う懇談会です。今年度は、昨年9月に策定された第1次能登町総合計画と行政改革をテーマにして、2月14日から21日にかけて町内5カ所で開催されました。

### さらなる行財政改革を

語る会の冒頭、持木町長は各地区における事業の進捗状況などを説明しました。また、厳しい財政状況の中、ハード事業よりもソフト事業を重点的に事業化すること、職員数削減などの行政改革を前倒しして実施することなどを述べました。

### 総合計画の概要を説明

続いて、町の将来ビジョンを描いた能登町総合計画について担当者が説明しました。すでに全戸配布されている概要版をもとに、今後のまちづくりの基本方針や重点的に事業化するプロジェクトなどについて話しました。

### 行革の成果は？

次に、今年度設置された行財政改革室長から17・18年度の行政改革の成果や19年度以降の実施計画、能登町の財政状況などの説明がありました。能登町行政改革大綱にもとづき進められているこの行政改革。17・18年度の2年間では9億2300万円の削減効果を見込んでいます。また、19年度

# 町の現在を知り 未来を語る。

語る会では、住民のみなさんからたくさん質問や提案がありました。その一部をご紹介します。

#### 【町の財政状況について】

▼町の財政状況がここまで悪くなったのはなぜか？予想できていたのか？

▼町の財政状況については、合併協議の中で10年間の計画を立てていました。合併して急に財政が悪くなったわけではありません。ただ、三位一体改革により現在の財政悪化の主な原因となっている地方交付税や補助金の削減については、ここまで急激に進むことは予想することができませんでした。

#### ▼財政再建のめどは？

▼町の財政構造は公債費（借金の返済）の割合が類似団体に比べて大きいことが問題です。行政改革などにより財源を捻出し、繰上償還を行うことにより、平成20年度の決算には、現在の危機的な状況を脱することができよう計画を立てています。

▼今後水道料金など住民の負担は増えるのか？

▼合併時には負担は軽いほうに統一したこともあります。しかし、上下水道料などは使用料収入だけでは維持できない状況であり、近隣市町と比較して安い

ものは適正な料金に改定していきます。

▼これだけ町の財政が厳しいというのに庁舎建設基金は必要なのか？

▼すぐに庁舎が建てられるとは考えていません。将来、今の庁舎が使えなくなったときの足がかりにしたいと考えています。

#### 【総合計画について】

▼総合計画が目指すまちづくりは住民にはわかりづらい。夢のある計画を示してほしい。

▼各家庭に配布した資料は概要版です。施策の展開については本編（町ホームページで閲覧または一部1000円で販売）において10年間を前期後期に分けて事業主体や重点度などを明記しています。

▼まちづくりに対する情熱をもった住民が主体の「まちづくり協議会」を作るべき。

#### 【行政改革について】

▼民間の目から見ると、今の行政改革はまだ甘いと感じる。職員の削減など改革を前倒しできるものは前倒しします。ま

以降は分庁方式の見直しや事務事業の徹底した見直しなどによる一層の経費削減を図るとともに、行政サービスの均一化や窓口業務延長など、住民サービスの向上も目指しています。

### 協働のまちづくりのために

今後は、総合計画に記載されている「重点プロジェクト」を順次推進していきますが、今回の語る会で住民のみなさんからいただいた貴重な意見・提案などは、十分に検討し、計画に反映させていくことができるように努めていきます。

住民と行政による協働のまちづくりのためには、直接住民のみなさんと話し合いをすることはとても重要です。語る会は、今後もみなさんの関心事や重要課題をテーマに、随時開催していく予定です。

た職員の意識を改革するため、今後は職員が自分たちでできることは自分たちでやるようにします。

▼学校の統廃合が進んでも町の未来を担う子どもたちのことをちゃんと考えてほしい。

▼補助金削減などの行政改革と交流を促進しようとする総合計画は相反するのではないかと？

▼行政改革によって財政再建を果たしてこそ、総合計画で描いたまちづくりが進むと考えています。

#### 【町の活性化について】

▼海洋深層水について、市場調査や利用拡大にむけた営業活動などを行っているのか？

▼深層水を事業化した目的は町の産業の活性化です。町が取水する深層水を使って付加価値のある商品が生まれればと考えています。

▼県人会などの人脈を頼り、企業誘致に取り組んでほしい。

▼高い収益を上げる農産物を研究開発しなければならぬ。

▼お金が町内で回るように町職員は地元でお金を使おうべき。

▼議会に対して、町民のためになることならばもっと強く発言してほしい。



# 春になったら いちねんせい

神野保育所  
女2人



鶴川保育所  
男7人・女5人 計12人



内浦保育所  
男6人・女4人 計10人



高倉保育所  
男3人

白丸保育所  
男1人・女4人 計5人



小木保育園  
男9人・女9人 計18人



松波保育園  
男10人・女4人 計14人



**ひばり保育所**  
男14人・女9人 計23人



**しらたぎ保育所**  
男10人・女6人 計16人



**上田保育所**  
男7人・女6人 計13人



**柳田保育所**  
男8人・女7人 計15人

春になったら  
いちねんせい